

その他の土木工事業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16～ 17	当社の資材置場にて仮設資材の整理作業中、地面に置いてあったバタ角（約10cm角の角材）につまずきバランスを崩し転びそうになり右手を地面についたとき、右手首をひねった様な状態になり負傷した。	44	10 ～ 29
1	9～ 10	砕石場で10tダンプに砕石を積み込して、計量計に乗り、伝票を取りに事務所に行くときに、足元が凍結していて滑って転倒し、左肩を骨折した。	57	1 ～ 9
2	9～10	幅3m90cm×幅3mの長方形の広さの場所に太さ13mmの鉄筋を組みコンクリート打設作業をしている時、生コンをスコップで敷均ししようと鉄筋の上を移動した際、躓き転倒し右足アキレス腱を断裂した。鉄筋は20cm間隔で捨コンクリートより6cm浮いた状態であった。	64	—
2	14～15	横断地下道の東側出入口部において、地下道内の作業（漏水補修）が終了し、後片付けをして事務所に戻ろうとした時、作業（1.9tダブルピック）の周囲に堆積した細かな砂利に足を滑らせ転倒し、左手首を突いて負傷した。	51	10 ～ 29
3	11～12	転倒した時、持っていた黒板が当たり、肋骨を打撲した。	35	1 ～ 9
3	9～10	工事完成後の溜池において、測量を行っていた。溜池に1cm位水が溜った状態で滑り易い状態だったため転倒した。受身が取れず、足を負傷した。	65	10 ～ 29
	13～	サービスエリア内トイレで床洗浄機を修理業者に引き渡した後、清掃準備のためゴ		50

4	14	ミ分別所に向かう途中。歩道を歩いていて側溝周りの路面のくぼみに足を取られて転倒し、右膝と左脇腹を強打した。被災当時、手ぶらで普通の速度で歩いていた。	61	～ 99
5	16～ 17	会社機械置場で重機の整備後、帰るためにトレンチャーのキャタピラ（高さ70cm）から飛び降りたところ、着地時に右足首を捻った。	42	30 ～ 49
5	3～4	残土運搬作業中、トンネルを出て左カーブを曲がった時、繋ぎ目の段差で車体が飛び、着地後に腰に痛みがはしった。本人はギックリ腰だと思っていたが翌々日の朝起床したところ、痛みで起き上がることができなかった。	46	1 ～ 9
6	16～ 17	盛土法面部で一輪車に土砂の積み込みを行い、作業箇所へ移動しようと方向転換した際に、バランスを崩して転倒した時、一輪車のハンドル部分が大腿部に当たった。	57	1 ～ 9
7	15～16	事務所倉庫にて作業中、足場を整理していたところ転倒し、床にあったH鋼にぶつけて骨盤を骨折した。	45	10 ～ 29
7	14～15	整地作業が終わり、帰り支度のため車両を誘導していた際、碎石が積まれているところで足をとられ転倒してしまい、誘導していた車両の後輪に足を引かれ負傷した。	36	10 ～ 29
7	16～ 17	荷持ちを両手で運んでいる時に、現場にあった高密度ポリエチレン管の上を渡り歩き滑って転び胸を打った。現場は荷物を運ぶのにそのポリエチレン管の上しか歩く所がなく、やむなくその上を渡り歩いた。	35	1 ～ 9
7	10～ 11	材料を積み降し中、石に躓き足を挫いた。	63	1 ～ 9
7	10～ 11	会社資材置場で鉄板（800kg）の整理整頓中、吊荷の鉄板が振れて、離れようとした際に足元に角材があり、躓いて左足首を捻った。	57	1 ～ 9
	10～	現場内の歩道を歩行中、足を滑らせ転倒した際に、左肘をついた。作業方法は、現		10

7	11	場指示通りに施工しており、足元の確認が不十分であったと思われる。当日は打ち身程度と感じていたが、痛みがとれず、腫れも出たため受診した。	62	～ 29
7	16～ 17	資材置場の草刈りを行うために片付けを行っていた際、転倒して右手で支えたときに、右肩より異音がした。	43	10 ～ 29
10	15～ 16	公園の維持管理業務において、背負式ブローにて落葉の集積作業中に、法面の落葉を飛ばそうと足を1歩法面にかけたところ、足を滑らせ転倒し被災した。	69	10 ～ 29
10	8～9	自社所有の造成前の土地に、工事看板を取り付けようとした時、入り口の坂道でつまずき、転倒して左肩を打ってしまった。	51	30 ～ 49
10	16～ 17	造園工事現場において、造園工事中、樹木の枝が駐車場に出ていたため、枝を切り、ブロック塀（高さ約2m）を乗り越えようとしたところ、足が壁に引っ掛かり、左足踵から落ち、左踵骨骨折となる。	24	1 ～ 9
10	15～ 16	舗装工事現場でスコップでアスファルト合材を運んでいる途中で踏み出した右足が滑り、そのはずみで左膝を舗装型枠に強打した。被災当日は当日作業を終えてそのまま帰宅したが、翌朝痛みがひかず、骨折が判明した。	23	10 ～ 29
10	8～9	資材置き場内において、資材、鉄骨など移動作業中において、落差2m下に足を滑らせて、コンクリートに落下したものである。	70	1 ～ 9
11	10～ 11	建物入口前、剪定も終わり、次の現場へ行くため強雨の中視界も悪く、小走りで慌てていたため片付中に特に段差もないところで躓いて転ぶ。その際に両手（左手はグー）両膝をついて左手小指を骨折する。顎にも擦り傷、両膝は打撲する。	55	10 ～ 29
12	11～12	工場において、当社廃プラスチックを片付け廃棄処分すべく同工場に運び、事務所にて受付を済ませ外に出て段差養生のための鉄板に足を乗せたところ、不意に滑り左側前頭部から転倒し、その際右膝を打ち負傷したものである。当日の履物は長靴であり、雪はなかった。	53	1 ～ 9

12	14~15	会社内倉庫で材料の片付けをしている時に、2人でパイプを運搬中に転倒してしまい、持っていたパイプと壁に指を挟んでしまった。当日、雪が降っていたので足元が滑りやすくなっていた為、十分注意はしていたが、雪下の碎石でつまずいてしまった。	65	1 ~ 9
----	-------	--	----	-------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html